

2019年7月30日

当院でアラガン社のインプラントによる 乳房増大・乳房再建を施行された患者様へ

以前より指摘されておりました、テクスチャードタイプのインプラント挿入部に稀に発生するブレスト・インプラント関連未分化大細胞型リンパ腫（以下、BIA-ALCL）に関連し、2019年7月25日、米国のアラガン社は同社のエキスパンダー、インプラントを世界的に自主回収すると発表しました。

既にインプラントを挿入されている患者様にはご心配をおかけしていることと思います。BIA-ALCLの発生率は以前より1/3800~1/30000と報告されており、発生率が急に上昇したわけではありません。また、インプラントを挿入されていない方がリンパ腫に罹患する確率は1/10000といわれています。

現時点で既にインプラントが挿入されている患者様に対して、予防的なインプラントの抜去は推奨されておらず、従来通り、2年（できれば1年）に1回の定期受診が必要となります。

BIA-ALCLに関する詳細は日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会のホームページ(<http://jopbs.umin.jp/>)より「一般の皆様」をご選択いただき、「一般の皆様へのお知らせ」をご参照ください。

今後の対応は学会から新たな方針が決定次第、随時ご報告させていただきますので、よろしくお願いいたします。

その他、ご不明な点がございましたら、形成再建外科・美容外科外来までお問い合わせください。

医療法人警和会 大阪警察病院
形成再建外科・美容外科部長 日笠 壽

【お問い合わせ先】

医療法人警和会 大阪警察病院 形成再建外科・美容外科外来
06-6771-6051（代表）